

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	埼玉県立熊谷図書館			代表者名	館長 小西 康雄
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	ビジネス・産業支援担当	連絡先電話番号	0485236291
担当者役職	主任司書	担当者氏名	山縣 睦子	連絡先E-mail	
住所	3600014 埼玉県熊谷市箱田5-6-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	館内職員研修
概要	埼玉県立熊谷図書館・埼玉県立久喜図書館の職員を対象に、県民の交流・価値創造を促進するサービスの企画・立案の参考となるよう、デジタルアーカイブの現在や活用可能性について御講義いただきたい。また、ワークショップへの御講評をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） デジタルアーカイブ/図書館		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和6年12月20日	支援・助言&講演	13時00分	16時00分	
				活動時間（分）	180

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由 （どのようなところがよかったか等詳細に）	参加者の習熟レベル(中級)に合わせて分かりやすい御説明と豊富な事例紹介をいただいた。ワークショップでは参加職員が積極的に参加し、詳細な企画の検討に取り組むことができた。
アドバイザーへの要望事項	3日目でのフォローアップ研修でのアドバイス

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	75人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	75		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 （具体的に記入下さい）	県立図書館職員が、県民誰もがデジタルコンテンツを保存・公開するシステムを活用し学習や価値創造を行える環境の提供と活用促進のための新たなサービスを企画できるよう、特に技術の進歩が顕著な情報化について、学び続けることが課題となっている。しかし、デジタルアーカイブに関する知識・技術が、職員によってばらつきがある。
支援により目指す成果 （具体的に記入下さい）	技術レベルが中程度の職員の8割が研修内容を理解し、自分たちの企画立案に取り組むことができる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	画像だけでなく、音声、動画、香り等も収集するような多様な企画提案があったが、技術面は心配しなくてよいこと、やりたいとおもう企画を考え続けていくことなどのアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	9班のグループが班ごとに企画提案を協議し、発表を行うことができた。 久喜1班 みんなの記憶を記録する 久喜2班 埼玉循環プロジェクト 久喜3班 埼玉デジタル百科事典 久喜4班 埼玉なんでもアーカイブ 熊谷1班 今昔何でもマップ 熊谷2班 埼玉講座動画デジタルコンテンツ事業 熊谷3班 高齢化社会を支える図書館 デジタルアーカイブを活用した回想法 熊谷4班 今昔ロケーション 熊谷5班 図書館で自分史をつくらう、思い出を残そうプロジェクト	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 3日目において、技術面について詳細をうかがう。	③現段階では課題・問題が残っているため未定
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	3日目の日時を調整する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 受講者アンケートは1月下旬に取りまとめ予定。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい 3日目にフォローアップ研修&助言をいただく。	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタルアーカイブを発展・活用させるために職員が身に付けるべき知識・技術・習得方法を知り、各職員を動機づける。デジタルアーカイブを県民が活用したり、デジタルアーカイブに保存することになる県民の創作を促すような事業案を作成し、実現に向けた課題を発見することができる。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

